



KOTA.SENDENBU
▲幸田町公式
Instagram



▲幸田町公式LINE

発行●愛知県幸田町(毎月1日発行) 編集●企画部企画政策課
〒444-0192 愛知県幸田町大字幸田字元林1番地1 ☎(0564)62-1111 FAX(0564)63-5139
ホームページ●<https://www.town.kota.lg.jp/> メール●kota@town.kota.lg.jp
町の花(つばき) 町の木(やまざくら)



第7回



博物館準備室

今回のテーマ

「あお つか青塚古墳と坂崎古墳群」

このコーナーでは、新博物館基本構想で取り上げた『幸田町になくてはならない文化財』を紹介しています。

かつて、町域に存在した菱池の周囲には、当時の権力者の墓である古墳が数多く造られていました。坂崎区は古墳が特に多く造られていた地域で、江戸時代後半に書かれた『坂崎往来』には、青塚・経塚・鏡塚などの七塚の古墳があったと紹介されています。ところが、明治時代の耕地整理により、青塚古墳と経塚古墳を残して、滅失してしまいました。

明治の耕地整理で完全に壊されるのを免れた古墳の一つ、青塚古墳(坂崎字弁天)は、5世紀後半から6世紀初頭に造られた前方後円墳です。平成29(2017)年の調査では、古墳の周りを巡る溝(周溝)の一部や墳丘のテラス部分に並べられた埴輪列を確認しました。この調査により、青塚古墳は、全長約38mの前方後円墳である可能性ができました。

令和6(2024)年度に、滋賀県立大学と町教育委員会が、古墳北側のくびれ部と昭和4(1929)年以来95年ぶりとなる石室の発掘調査を行いました。調査では、整然と並んだ葺石列を確認できました。この葺石の並びは東海地方において同時代の前方後円墳では他に類例がありません。また、石室は西側に入り口を持つ北部九州系の石室であることが分かりました。



青塚古墳の葺石列と石室内(令和6年度調査写真)

青塚古墳からは、これまで行った調査において豪華な副葬品が出土しています。特に明治43(1910)年の土取りの際、石室内から見つかった金銅製帯金具は全国的にも貴重な品であるため、青塚古墳の被葬者は、大陸とつながりのある人物であると想定されています。また、埴輪は、円筒埴輪以外に、きぬがさ・馬・家・人などをかたどった形象埴輪が多く出土しており、青塚古墳に葬られた人物を知るための手がかりを与えてくれます。

本年度も、8月25日(日)から、滋賀県立大学が発掘調査を行います。是非、発掘現場へ見学にお越しください。



平成29年に見つかった円筒埴輪



明治に見つかった金銅製帯金具

問合せ 文化スポーツ課 文化グループ(中央公民館内)
☎(0564)62-1111(内線195) FAX(0564)63-1675
月曜休館(月曜が祝日の場合は翌平日が休館)



◀新博物館基本構想
についてはこちら